

きらく ばなこ

第14回
平成20年3月

|| 迷い犬が来た旅館 ||

▼正月元旦の朝食の仕度をしているところにひよこり、赤茶色の犬が舞い込んできた。「入るな」の声で出て行った。▼二日後にその犬は磐梯熱海駅で有り合わせの荷造り紐で繋がれていた。駅長の説明では「線路に入って危険なので明日保健所に来て頂きます」との事だった。保健所に行きすぐ屠殺ではしのびなく、預かつて帰り夕食を食べさせて逃がす事を2日ほどやった。その後毎朝きらくやに帰って来るようになった。首輪も付けているし聞き分けもある。誰かが飼っていた迷い犬だと判断して飼い主が来るまでしばらく預かる事にした。

▼欲求不満にさせてはいけないうつらから早起きをして毎朝一緒に散歩が始まった。食べ物はお客さまの残飯を喜んで食べる。散歩をさせる私を一番大好きで早朝見かけるとウサギのように飛び上がり喜びを表



舞い込んだムサシ

現する。散歩相手の私が目の前を通ると散歩をせがんで吠えるので「いちいち散歩はしないよ」と声を掛けなければならぬ。▼名前を「ムサシ」と付けて玄関先に繋いでおいた。玄関先に居ると目に付く

のか大好きのお客様がリード(紐)やドッグフードを持ってきて下さった。犬小屋も2つ届いた。人を見ると誰にでもシッポを振りとても愛想が良い。番犬にはなれないがすっかりきらくやのアイドルである。▼うちの犬かも知れない」と4人ほど尋ねて来たが皆違っていた。50日一緒にいて情が移り本当の飼い主は尋ねて来ないで欲しいと思いはじめている。(きらくや社長・村田英男)

番39丁目4町熱海市
温泉熱海磐梯
前駅熱海磐梯



電話024-984-2130
ホームページ: <http://kirakuya.jp>